

# 「炭焼きの里」構想について



五味 滋 議員

と、ネームバリューをもたせること、観光地化すること、経済的になりたつことが必要。間伐材利用で、ゴミステーション、ベンチなどを作る、また小規模土木事業で土留めなどに利用できないか。

問

入笠山林道でも使用しているが、環境対策からも利用方法を研究したい。スミは脱臭、脱湿などに使用されている。

答：町長

学校の「豊かな体験活動」で間伐材を利用し、ベンチなどを作った。間伐材にもう一度命を吹き込むことという「学び心」を学習した。ヒノキの間伐があったら知らせてほしい。

答：小池邦治教育課長

問：五味滋議員  
林業の振興・地球温暖化防止のため、間伐材を利用し、大規模な「炭焼きの里」を作ったらどうか。

答：矢嶋民雄町長  
炭焼きの里には協力したいが、誰か継続できる人がいるか、誰が主体となるかが問題だ。

問  
民間が主体となるべきだと考える。大規模にやるこ



ほ場整備が完了した水田

竹スミに使われている。日常生活の中で「おき」以外の利用に期待できる。

問

ほ場整備事業で、過去に地権者間の換地で不満はなかったか。現在まで尾を引いている問題はないか。白番（割りこぼし）の処分方法はどうか。相続問題になったことはないか。

答：町長

換地委員会を設置して行っている。公図の誤りについては県、法務局などの指導にしたがっている。白番の処分方法は難しい問題。

問

中山孝議員  
新型肺炎 (SARS) が発生した場合の対応は。住民への情報提供の考えは。

問  
諏訪地域では諏訪赤十字病院が対応病院。広報で発生源への渡航・帰国の対応予対策など報じた。

問  
地産地消で地域活性化を。家庭や学校給食で活用する



中山 孝 議員

## 地産地消で地域の活性化を

考えは。

問

町内の活性化推進協議会を核に農産物の直売・食材提供を行っている。ソバ・麦の乾燥製粉施設の設置を計画している。学校給食では「地域食材の日」を実施したい。

問

乳幼児健診時に絵本を配布する考えは。

答：町長

健診時に絵本の紹介・読み聞かせ・読書の啓発活動で読書推進を図る。

問

合併問題で、住民投票のスケジュールは。町長は投票前に意思表示をすること

に変更はないか。

問

9月中旬から37集落で説明懇談会を開催する。任意合併協議会で検討しなければならぬ課題が多くあり、判断材料を揃えて町民に提供する。その変更はない。

問

有害鳥獣対策で、個対数被害状況は。防止柵、電気柵の拡大の考えは。

答：町長

サルは30〜50匹の3群の行動範囲を大まかに把握した。シカ・イノシシの個対数は不明。被害額は昨年度668万円。今年度、立沢・乙事で防止柵、花場で電気柵を実施する。



花場地区に設置された電気柵